

教師力向上支援事業派遣研修報告書

- 1 所属・職・氏名 高岡市立南星中学校 教諭 濱井 未央
- 2 研修期間 令和6年7月25日(木)、26日(金) 2日間
- 3 調査研究課題 企業人と交流することで、そこから得られる「気付き」を共有し、互いの視野を広げ、「人間力」を持った子どもたちの育成につなげる
- 4 研修機関 等 株式会社インテック 大山研修センター
- 5 研修概要

(1) はじめに

未来を担う生徒に接する中で、社会の変化に教師である自分自身がついていけないと感じている。企業人の方々と関わることで、自身の視野を広げ、得た「気付き」を生徒たちとの関わりや職場に生かしていきたいと考えた。

また、以前に、富山経済同友会の講師の方から、生徒に課外授業をしていただいたことがある。そのことをきっかけに、生徒たちに、自分の将来に夢や希望をもち、進路に対する意識を高め、よりよい生き方について考えている様子が見られた。教師では、気付かせることができないことも企業の方々に協力していただくことで可能になることを実感した。企業の方々と連携を図り、生徒の人間力の育成に努めていきたい。

(2) 7月25日(木)に行われた研修(講演会・ディスカッション)について

①「人間力について考えよう！」 (株)MGG 代表取締役社長 牧田和樹氏

はじめに、組織運営におけるリーダーシップとマネジメントの違いについて知った。駐車場は、白線を引くことでどのように停めたらよいか分かるように、仕組みをつくることが重要であると分かった。また、人間力についても見解を述べられ、人間性はもちろん、知識と経験に基づいた知性や自己効力感を含む意欲等が合わさり、人間力であるということが分かった。人間力を付けるには、人間関係の構築と自分自身の存在意義の確立が大切である。思いやりや人とのつながりを大切にする、自己存在感や自己効力感をもつことについて考えることができた。「人間力は伝播する」という言葉から、教師の人間力は、子供たちに広がっていくことを強く感じた。教師は、子供が家族以外で初めて社会活動を共にする人間の一人である。教師の人間力が子供の人間力を育てる。まずは、教師が人間力を高めることの重要性を感じた。

講演後のディスカッションでは、主にスクールポリシーや校長の学校運営のビジョンについての話合いがなされた。学校経営と企業経営は似ているところがあり、教職員や児童生徒、企業ならば職員に、どう情報共有し、ベクトルの向きを揃えてどう運営していくかということによく似た悩みがあることが感じられた。

②「自分らしく働く」 YKK(株) 副社長 黒部事業所長 小林聖子氏

自分の意志に忠実になるためにやりたいことに向き合うことや無駄なキャリアはないというお話から、無駄なことも大事と思えるマインドづくりの大切さを感じた。

講演後のディスカッションでは、主に「幸運な偶然を引き寄せる能力」についての話合いが心に残っている。バックキャスト方式(目標にする未来を描き、実現するための筋道を逆算して「今」何をすべきか考えること)を用いることで、自ら伸びようとしたり、弱い自分を克服し変わろうとアクションを起こしたりすることができるそうだ。自分と向き合い、問題意識をもち、思いを叶えるために変わろうと行動できる人が幸運な偶然をつかむことができることを学んだ。

③ディスカッション「組織運営」

学校（学級・学年）や企業を経営・運営するために必要なことは何か 等

「悪いことほど、情報が早く伝わる方がよい。そうなるようにするにはどうしたらよいか」という話題について、フラットな組織づくりや職員が交流し、学び合い成長し合う工夫について考えた。企業では、小集団をつくって、課題の要因を探り分析をし、改善策を考えるなど、交流を生む工夫をされていることを知った。研修会のもち方や普段の中に、コミュニケーションを取り合って交流し合える工夫を学校でも心掛けていきたいと感じた。

④「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」

(株)ユウグレナ 代表取締役社長 出雲充氏

「メンターとアンカーをもつことで、人は続けることができる」という言葉が心に残った。500回の失敗をしても、思い描いた夢をあきらめず、何としてもやりきるという強い思いをもち、繰り返し努力する力をもち続けることができた秘訣を教えていただいた。また、変化に対応する組織の在り方、実際に新しい視点を取り入れておられる様子を伺った。

(3) 7月26日（金）アクティビティ研修について

4つのチームに分かれて、研修を行った。アクティビティでは、チームの全員で協力しながら、目標達成を楽しむことを体感できた。失敗しながらも、自然と意見を交わし、汗を流して行動することをとても楽しく感じた。チームは、リーダーシップを発揮できる人、統率力のある人、指示通りしっかり行動できる人、周りを鼓舞して盛り上げる人等がいて、まとまりがあった。アクティビティをやり遂げることができないことも多かったが、どんな時もチームの仲間、相手を大切にする気持ちが感じられた。この研修を通して、各個人が自分のよさを生かして、果たすことのできる役割を主体的に探すことが大切だと感じた。普段においても、日々起こる数多くの問題や課題に対して、それぞれが主体的に取り組もうとする意識を高くもつこと、自分事として考えられる環境づくりについて考えることができた。

(4) 研修を終えて

研修では、経済同友会の皆様、異校種の先生方とともに過ごしながら、新たな知識にふれ、視野を広げる貴重な機会となった。これからも様々なことに関心をもって学び続け、教師としてはもちろん、一人の人間として人間力の向上に努めていきたいと思った。

また、現在、学年組織の運営マネジメントについて研究を進めているが、学年主任やミドルリーダーの在り方について大変参考になる意見をいただいた。今回の経験を研究だけでなく、学年・学校運営の充実に生かしていきたい。